

Title	寄贈交換圖書雑誌目録
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1941
Jtitle	史学 Vol.19, No.4 (1941. 3) ,p.145(729)- 147(731)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19410300-0146

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ヴァンの「古代中亞帝國」をそれ／＼紹介批評して居られる。なほ今回は研究所研究部の諸氏の論文は殆ど見當らないけれども、號を重ねるに随つてそれらの方々の業績に接する事が出来るであらうと私かに期待してゐる。

最後に妄言を謝すると共に本誌の發展を祈つてやまない。

(竹田龍兒)

支那四千年史

(後藤末雄著
第一書房發行)

國民の支那への關心が昂まるに連れて支那四千年の歴史を平明に興味深く説いた概説書を要望する聲は各方面から聞えてゐたが、今日迄にこの種の書物が當然専門史家によつて書かる可くして實は殆ど書かれずにゐたのである。鳥山喜一教授の「黄河の水」などはこの意味に於て珍重すべき存在となつてゐる。一般讀者層を相手に啓蒙的な筆を執る事は一見易きに似て實は存外に苦心を要するものである。時代の熱烈なる要望にも關らず史家が自重して容易に筆を執らうとしないのを見て敢然これに應ぜられたのが後藤博士の「支那四千年史」である。發刊後旬日を出でずして早くも版を重ねつゝある事實をみても本書が如何に世に迎へられてゐるかを知るに足るのであつて行文の輕妙さと敘述の平明暢達とは流石と敬服させられるものがある。著者は「柄になく小説風の筆を弄した」と自遜して居られるが、面白く讀ませるといふ點では充分に所期の効果は收められてゐると思ふ。筆者は通讀して寧ろ面白過ぎはせぬかを感じた位である。本書をものせらるゝに際

しての著者の心構へは序言の中に明かに示されてゐる。上下四千年の歴史を限られた紙數の中に纏め上げようとするには重點主義に據らざるを得ないのは言ふまでもないが、重點の置き處如何が相當重要な問題であると思ふ。本書に於て著者は専ら重點を文化の面に置かれた結果、社會史的考察が閑却され勝ちなのが目に附く。この點讀者をして稍物足りなさを感じせしめはしないだらうか。著者は可及的廣範圍の讀者層を狙つてレベルを下げられたのであらうが、一應は支那史の基礎をなす支那大陸の地理的環境や、考古學上より見たる支那文化の始源等に關しても簡單な説明を與へて置いて頂きたかつたと思ふ。然しすべては望蜀の感に過ぎないのであつて、本書によつて一般世人の支那史に對する興味が大いに喚起せらるゝであらうことを信じて疑はない。妄評を敢てした事を謝すると共に、本書を江湖にお薦めする次第である。

(竹田龍兒)

寄贈交換圖書雜誌目錄

蒙古學報 一	蒙古研究所研究部
民族文化 三、四、五	山岡書店
書叢 十九、二〇、二一、二三	北京近代科學圖書館
Préface 八ノ六、八、九、一〇、二、九ノ一	大藏出版社
佛教研究 四ノ二、四、五、六	大東出版社
東洋思想研究 十一、十二、十三、十四	東洋思想研究所
龍谷史壇 二六	龍谷大學史學會
東洋美術研究文獻目錄(昭和十三年)	美術研究所

相武研究 二七、二八、二九、三〇、三一、三十一、二

武相考古會

興京二道河子・舊老城

建國大學

長崎談叢 二六、二七

長崎史談會

名古屋溫故會叢書 三

名古屋溫故會

愛知縣史蹟名勝天然紀念物調查報告

愛知縣

京城帝大史學會誌 十六

京城帝大史學會

小村侯記念圖書館報 一、三

小村侯記念圖書館

斯道文庫報 二、三

斯道文庫

基督教史研究 九、十

基督教史研究會

駒澤地歴學會誌 三

駒澤大學地歴學會

歴史と生活 三ノ四、四ノ一

慶應義塾經濟史學會

公法社論

建國大學研究報告三

商業と經濟 二一ノ一、二

長崎高商研究館

回教圈

回教圈研究所

來原良藏傳

妻木忠太編

古事記諸本解題

國幣中社志波彦神社編

生活教室

兒童文化研究所

文化 七ノ八、九、一〇、一一、一二、八ノ一

東北帝大圖書館

燕京學報 二十七

燕京大學圖書館

風俗研究 二三〇、二三一、二三二、二三三

風俗研究所

畫說 十五ノ八、九、十、十一、十二、十六ノ一、二

東京美術研究所

人類學雜誌 五五ノ七、八、九、一〇、十一、十二、五六ノ一

東京人類學會

上毛及上毛人 二八一、二八三

上毛郷土史研究會

經濟史研究 二四ノ八、九、一〇、十一、十二、二五ノ一、二

日本經濟史研究所

カトリック研究 二〇ノ五、六、二一ノ一 キリシタン文化研究所

考古學雜誌 三〇ノ八、九、一〇、十一、十二、三一ノ一、二

考古學會

國學院雜誌 四六ノ七、八、九、一〇、十一、十二、四七ノ一、二

國大雜誌部

國民經濟雜誌 六九ノ二、三、四、五、六、七〇ノ一、二

商業研究所

國民精神文化 六ノ七、八、九、一〇、十一、十二、七ノ一

國民精神文化研究所

國史學 四一

國史學會

國史回顧會紀要 四四

國史回顧會

古學叢刊 八、九

北京古學院

密教研究 七四、七五

密教研究會

蒙古 十七、七ノ九、一〇、十一、十二、八ノ一、二

善隣協會

日本文化 十八

天理圖書館

大谷學報 二一ノ三、四

佛敎研究會

歷史地理 七六ノ二、三、四、五、六、七七ノ一、二

歷史地理學會

歷史教育 十五ノ四、五、六、七、八、九、一〇

歷史教育研究會

歷史と國文學 二三ノ一、二、三、四、五、六、二四ノ一、二

太洋社

埼玉史談 十一ノ六、十二ノ一、二

埼玉郷土會

西洋史研究 十五

仙臺郷土研究 一〇ノ七、八、九、一〇、十一、十二、十一ノ二

西洋史研究會

史潮 一〇ノ二

仙臺郷土研究會

史苑 十三ノ四

大塚史學會

史淵 二四

立教大學史學會

史學研究 十二ノ二

九大史學會

史學雜誌 五一ノ八、九、一〇、十一、十二、五二ノ一、二

廣島史學研究會

史觀 二二、二三、二四

史學會

史林 二五ノ三、四

早大史學會

史前學雜誌 十二ノ四、五、六

史學研究會

下野史談 十七ノ四、五、六、十八ノ一

史前學會

書誌學 十五ノ二、三、四、六

下野史談會

東方學報 東京十一ノ二、京都十一ノ二、三

日本書誌學會

土佐史談 七一、七二、七三

東方文化研究所

東洋文化 一八七、八、九、一九〇、一、二、三

土佐史談會

禪學研究 三四

東洋文化學會

禪學研究會

書評